

2015年12月16日

報道関係各位

公益財団法人 笹川スポーツ財団

笹川スポーツ財団 スペシャルサイト『スポーツ歴史の検証』

第45回 葭原 滋男 氏

(複数種目でパラリンピックに4大会連続出場、ブラインドサッカーでも日本代表に選出されたアスリート)

笹川スポーツ財団(所在地:東京都港区赤坂 理事長:小野清子 以下:SSF)は、日本のスポーツの歴史を築かれてきた方々にお話を伺い、スポーツの価値や意義を検証、あるべきスポーツの未来について考えるスペシャルサイト「スポーツ歴史の検証」を連載しております。本年度はパラリンピアンや、ご自身の活動をとおして障害者スポーツをけん引してこられた方にフォーカスを当て、今回は**葭原 滋男さん**にご登場いただきます。

少年時代に網膜色素性症を患い、成長するにつれて視力を失い、22歳で障害者の認定を受けた葭原さんは、持ち前の運動神経を活かし、全国障害者スポーツ大会を皮切りに、陸上競技と自転車競技で1992年~2004年のパラリンピックに出場しました。その後は、ブラインドサッカーに転向し、2007年に日本代表選手に選出され、2009年アジア選手権大会ではハットトリックを3分間で達成するなど数々の輝かしい足跡を残されています。山本浩氏をインタビュアーに、障害者を取り巻く日本のあるべき姿などについてお話を伺いました。SSFウェブサイトでの公開詳細は以下のとおりです。ぜひともご覧ください。

『“新しい障害者像”を体現しつつける痛快・スポーツ人生』 葭原 滋男 氏

【公開日時】2015年12月16日(水)10:00 一斉公開

【URL】<http://www.ssf.or.jp/history/>

笹川スポーツ財団 歴史の検証 で検索ください

【主な内容】新しい視覚障害者像をつくる! / 初めてのパラリンピック「俺、スターみたいだ」 / 金メダルの夢のため、自転車競技に転向 / ブラインドサッカーで「青春時代」再開 / 50歳を超えて、まだまだやり足りない! / 子ども達へ。。。「スポーツ、楽しいよ!」ほか

葭原 滋男 (よしはら しげお) 氏

1962年東京都出身。10歳の時に網膜色素性症を患い、22歳で障害者の認定を受ける。1992年バルセロナ大会と1996年アトランタ大会は陸上競技の走り高跳びに出場し、2000年シドニー大会と2004年アテネ大会では自転車競技で出場する。シドニー大会では、自転車タイムトライアルで金メダルを獲得するとともに当時の世界新記録を樹立する。その後は、ブラインドサッカー界に足を踏み入れ、2007年には日本代表に選出され、2009年にはブラインドサッカーアジア選手権大会でハットトリックを達成するなど、複数の競技で輝かしい足跡を残す。

山本 浩 (やまもと ひろし) 氏

1953年生まれ。スポーツ評論家。NHK在職中はエグゼクティブアナウンサー、解説委員(スポーツ・体育分野専門)として活動。現在は法政大学スポーツ健康学部教授を務める。

<スポーツ歴史の検証>概要

【企画制作】公益財団法人 笹川スポーツ財団

【後援】文部科学省、東京都、公益財団法人 日本体育協会、公益財団法人 日本オリンピック委員会ほか

【特別協力】株式会社アシックス

この件に関するお問合せ先
笹川スポーツ財団 経営企画グループ：古坂(ふるさか)
TEL: 03-5545-3301 info@ssf.or.jp